

事後評価調書

| I 事業概要 | | | | | |
|--------------|--|---|-------------|---------|----------------|
| 事業名 | 治山事業（予防治山事業） | | | | |
| 地区名 | とよたしかみにぎちようとうぼらほか 豊田市上仁木町宇頭洞他 | | | | |
| 事業箇所 | とよたしかみにぎちようとうぼらほか 豊田市上仁木町宇頭洞他 地内 | | | | |
| 事業のあらまし | 当該地区では山腹斜面からの落石が多くみられ、山地災害の危険性が高い。そのため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して落石防護柵工を実施した。 | | | | |
| 事業目標 | 【達成（主要）目標】 落石防護柵工を設置し、荒廃山腹の保全を図る。 【副次目標】 — | | | | |
| 事業費 | 事業費 | | 内訳 | | |
| | 0. 1億円 | ■工事費 | 0. 1億円、□用補費 | 億円、□その他 | 億円 |
| 事業期間 | 採択年度 | 2015年度 | 着工年度 | 2016年度 | 完成年度 2016年度 |
| 事業内容 | 落石防護柵工68. 5m | | | | |
| II 評価 | | | | | |
| ①事業目標の達成状況 | 1) 主要目標の達成状況 | 【達成状況】 治山施設が整備されたことにより、荒廃山腹が適切に保全され、山地災害の未然防止が図られている。 【達成状況に対する評価】 事業目標を達成しており適切である。 | | | |
| | 2) 副次目標の達成状況 | 【達成状況】 — 【達成状況に対する評価】 — | | | |
| III 対応方針 | | | | | |
| 今後の事後評価の必要性 | 事業目標は達成されており、今後の事業評価の必要性はない。 | | | | |
| 改善措置の必要性 | 事業目標は達成されており、今後の改善措置の必要性はない。 | | | | |
| 同種事業に反映すべき事項 | 標準的な事業計画・工法で施工しており、重大な問題も発生していないため、同種事業に反映すべき事項はない。 | | | | |